

テーマ

日韓社会における試験と縁起担ぎ

適用
分野

民俗学、文化人類学、社会学、
歴史学

研究
名称

日韓社会における試験と縁起の食物

氏名
所属

金 泰虎 教授
全学共通教育センター

内容

●特徴

一般的に料理・食材・加工食品・飲み物といった食物は命を維持するため日常的に口にするものである。

しかし、日常生活の中では食物に対し医学的な理由、宗教上の掟などによって遠ざけたり、敬遠したりする場合がある。一方、日韓社会では、これらと違う次元で試験を控えて縁起が悪いということで特定の食物を避けるケースがある。

逆に、試験を控えて食物にまつわる良い縁起を担ごうとする縁起担ぎ＝験担ぎの意味で積極的に食べるものもある。要するに、日韓社会では試験を控えて縁起担ぎとして縁起の良い食物と悪い食物が共存している。

この試験と関わる縁起は、競争の伴う選抜試験が存在するために生まれたと考えられる。つまり、選抜試験によって不合格者が多い場合は藁にもすがりたくなるのが一般的な人間の情緒である。

日韓社会における選抜試験の誕生と縁起の食物がいかにして結びつき、社会に定着するのかは食文化や試験文化を考える上でも重要な示唆点になる。

●研究内容

日韓社会における試験を控えての縁起の食物は、医学や宗教のように、ある根拠に基づいているわけではなくまじない的な行為に過ぎないが、人々は信じ続けている。そこで、試験を控えて縁起担ぎの食物を分析するに当たり、まず前提条件となるのは試験、つまり選抜試験の始まりを究明する。その理由は、選抜試験があってこそ合格を祈願する縁起担ぎが生まれたと考えられるからである。

ところで、日韓社会では選抜試験としても様々な種類が存在しており、その中でも入学試験と就職試験に限って考察を行う。前近代から今日に至るまで史料や習慣などから入学試験と就職試験に関わる縁起担ぎ、つまり縁起の良い食物と縁起の悪い食物について調べる。いつ頃から縁起の良い食物や悪い食物が生まれたのか、これらを網羅して取り上げることにする。そして、その縁起の良し悪しの背景にはいかなる理由があるのかについても追究をする。

その上で日本社会と韓国社会の間にみる縁起担ぎの食物の特徴、その類似点や相違点、そして縁起をめぐる着目点について述べるとともに縁起の食物と栄養学的見解をも絡ませて言及を行う。

キーワード

試験、縁起、縁起担ぎ、料理、食物

連携方法

■ 講演 □ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 ■ コメント ■ 共同研究